

## 構成（私案）

はじめに

### 第1 小平市児童発達支援センター開設にむけて

#### 1 小平市の基本的な考え

障がい児支援の市の中核的施設と位置づける

発達支援相談拠点機能を併せ持つ

既存施設の改修を第一とする

担当部署の設置 ～ 小平市分掌事務一覧（30年4月）より ～

#### 2 開設の検討までの経緯

市 障害福祉計画、特支教育後期計画 → 発達支援相談拠点検討委報告

国 児童福祉法、発達障害者支援法、障害者差別解消法、

厚労省児童発達支援ガイドライン、

厚労省課長通知「32年度末までに1ヶ所～」

文科省局長・厚労省福祉部長通知（30年5月）「教育と福祉の一層の連携推進」

#### 3 小平市の発達支援の現状と課題解消のために

「4つの身近な相談先」から、わかりやすい「総合相談窓口」へ

個別療育分野を言語から「言語認知・運動身体・社会性」の3本柱を目指して

学齢期も切れ目なく福祉的関わりを継続し、福祉と教育の両輪で発達支援する

既存の面的整備に、ワンストップ窓口を組み合わせる「小平方式」への挑戦

### 第2 小平市児童発達支援センターの概要

#### 1 理念 すべての子どもが地域で安心して育ち、学び、暮らすことができるように

- #### 2 基本方針
- 誰もが気軽に利用しやすい発達支援センターに
  - 家族に寄り添い支える、子育ての拠り所となるセンターに
  - 一貫した発達支援が切れ目なく受けられるセンターに
  - 地域の発達支援の中核的役割に責任を持つセンターに

#### 3 対象 発達について相談に訪れるすべての子どもと家族と関係者

- #### 4 概要
- ①留意事項 イキ
  - ②内容 イキ
  - ③児童発達支援事業と児童発達支援センターの違い  
ネットワークの構築

### 第3 小平市児童発達支援センターに求められる機能 イキ

- #### 1 7つの機能
- ① 相談機能
  - ② 療育機能
  - ③ 家族支援機能

- ④ コーディネート機能
- ⑤ 地域支援機能
- ⑥ 情報収集・提供機能
- ⑦ 理解・啓発機能

## 2 既存の制度と新規制度

既存；児童発達支援、巡回相談、言語相談訓練、障害児支援利用援助、  
放課後等デイサービス  
新規；保育所等訪問支援

## 第4 小平市の発達支援の連携のかたち

### 1 発達と発育の連携

#### ①既存施設（事業）との連携と役割分担

- ・健康福祉センター（16健診、3歳健診、発達相談）
- ・あおぞら、たいよう福祉センター（言語相談訓練）
- ・保育施設      ・小児科医、専門医

#### ②子ども家庭支援センターとの連携と役割分担（改正児童福祉法）

#### ③子育て世代地域包括支援センターとの連携（今後の展開）

### 2 福祉と教育の連携

#### ①総論；福祉部局と教育委員会、障害児通所支援施設等と学校の、双方の垣根を 排除し～切れ目なく支援していく体制を整備する（局長部長通知再掲）

例；日野市モデル

#### ②幼稚園、学校、特別支援教育、教育相談室、学童クラブとの連携・協力

#### ③白梅学園大学連携事業との連携と役割分担

#### ④放課後等デイサービスとの連携と役割分担

### 3 移行支援（就学相談、転学、進学、）

### 4 成人期への連携      障害福祉サービスへの移行

小平市就労支援センターほっと      小平市地域自立生活支援センターひびき

### 5 広域連携

児童相談所、多摩小平保健所、東京都発達障害支援センター TOSCA、  
東京都心身障害者福祉センター多摩支所、他

## 第5 提言 小平市児童発達支援センターにのぞむこと

### 参考資料